

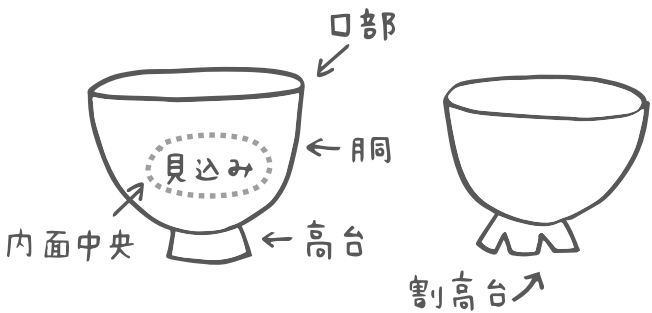
博物館 Dictionary No.230

◆あなたに語る・時代を超えて生きる心◆

てんじ 展示中の作品について、研究員が分かりやすく解説します。 かいせつ

茶人たちに好まれてきた茶碗 高麗茶碗

茶の湯の道具として使われる茶碗は、つくられた国や地域から、大きく三つに分けられています。中国やその周辺の国々でつくられた唐物茶碗、朝鮮半島でつくられた高麗茶碗、そして日本で作られた和物茶碗です。なかでも高麗茶碗は口部や胴部に歪みをつけたり、胴や高台内に篋彫りを施したり、そして高台を高くして切り込みを入れたりするなど、さまざまな形のものがあり、種類も豊富です。



呉器茶碗

そうした高麗茶碗のなかでも、とくにたくさん日本に伝来し、形も特徴的な茶碗が呉器茶碗です。呉器茶碗は、全体的に器の厚さが薄くつくられ、胴に膨らみを持つ椀形で、全体に整った形をしていることから、詳細は明らかになっていませんが、なんらかのルールを持ってつくられたと思われます。日本から注文してつくられた茶碗（御本茶碗）のなかにも呉器茶碗を写したのがあり、桃山時代以降、茶人たちに好まれ、人気のあった茶碗であったといえるでしょう。



図1 錐呉器茶碗 朝鮮時代 16世紀 個人蔵 (正面)

A large, dark, heavily textured, dome-shaped object, possibly a piece of ancient pottery or a small furnace, with a flared, multi-lobed top. The surface is covered in numerous small, light-colored spots and scratches, suggesting a weathered or aged material. The top has a flared, multi-lobed shape, resembling a small, dark, metallic or ceramic cap. The object is shown from a low angle, emphasizing its rounded, bulbous form.

きりごきちやわん ちょうせん こじんぞう こうだい
図2 錐呉器茶碗 朝鮮時代 16世紀 個人蔵(高台)

①茶碗ちやわんの口くちの部分ぶぶんを数か所かずか所つまみ出したような形かたちのもの。割高台わりこうだいとなっているもの。
張木はりきとも呼ばれ、割高台わりこうだいにならないものもあります。

(工芸室 降りやてつお 隆矢哲男)